［別紙－2］

社会資本総合整備計画　　事後評価書

平成２９年１月

計画の名称	石川～富山における広域交流活性化計画		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（５年間）	交付対象	富山県（石川県と連携）

計画の目標

温泉や優れた自然景観、歴史・文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と富山県が密接に連携し、平成２６年度に金沢まで開業予定の北陸新幹線や北陸自動車道等の交通結節点と観光拠点施設間、または拠点施設を相互に連絡する広域的な周遊ルートを整備することにより、交流人口増大させ、地域振興を図る。
また、両県が連携して、より広域的なＰＲを実施することで、広報活動の効率化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

【石川県・富山県　共通目標】　観光客数３，８４６万人(H21)から４，４２５万人(H27)に増加（５８０万人の増加）

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	備考
① 【石川県・富山県　共通目標】　観光客数 （観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　H21の年間観光客数）／（H21年間観光客数）	３，８４６万人	４，１３６万人 （７％増）	４，４２５万人 （１５％増）	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	7,859 百万円	A	7,859 百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	0.0%

事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
富山県土木部道路課	事業完了後
	公表の方法：富山県ホームページ

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・（主）砺波福光線（吉江中）の道路整備により、未改良区間が解消され、拠点施設である砺波チューリップ公園とイオックス・アローザスキー場間のアクセス性が向上した。 ・（主）小杉婦中線（戸破～黒河）の道路整備により、ＪＲ北陸本線（当時）を跨ぐ橋梁が完成し、拠点施設である海王丸パークと越中おわら風の盆の開催地（八尾）との所要時間が短縮した。				
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①（観光客数）	最終目標値	４，４２５万人	目標値と実績値に差が出た要因	道路整備による拠点施設間のアクセス性向上や北陸新幹線の開業効果等により、目標を達成することができた。
		最終実績値	４，５３３万人		
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	道路整備により、観光ルートにおけるアクセス性、安全性、快適性が向上し、所要時間が短縮した。				

３．特記事項（今後の方針等）